

保莉実 写真展

The Call of the Living Earth
Photographs of Indigenous Australians
by Minoru Hokari

カントリーに呼ばれて

オーストラリア・アボリジニとラディカル・オールラル・ヒストリー



カントリーのあちこちを巡って、身体とさまざまな場所とを結びつけることは重要な倫理的活動である。カントリー(我が家)は、生きている。そして人間がカントリーの慈しみを必要としているように、カントリーは人間の慈しみを必要としている。川に釣りに出かけるとき、人々はカントリーに魚をもたらしてくれるように歌いかける。するとカントリーは人々に魚をもたらす。移動は、世界に注意を向け、世界と交流するために不可欠なのである。

It is essential to move around the country in order to relate and connect yourself to places. Your country or home is alive. It needs your care as you need its care.
Going fishing and singing out for the country is a typical mutual relationship between people and their country. People look after the country by visiting and communicating with it, and the country looks after the people by giving them plenty of fish.
Mobility is essential because while moving, people pay attention to and connect with the world.

2011年 4月8日(金) — 5月8日(日)

開館時間/10:00—16:00 休館日/月曜日

北海道大学総合博物館 2階展示室

主催：北海道大学アイヌ・先住民研究センター
共催：北海道大学総合博物館、北海道大学グローバルCOEプログラム「境界研究の拠点形成」
協力：保莉実とつながる会、北海道立北方民族博物館、フレメン写真製作所、佐藤守功デザイン事務所

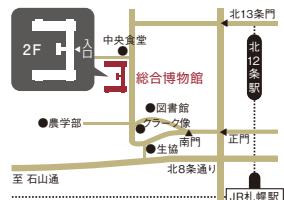
●展示関連イベント 2011年度・前期 道民カレッジ連携講座 無料・申込不要

座談会—「保莉実の歴史学をいかに受けつぐのか？」

窪田幸子(神戸大学教授)、野上元(筑波大学准教授)、谷本晃久(北海道大学准教授)

日時：4月16日(土) 13:30—15:30 会場：北大総合博物館1階「知の交流」コーナー

入場
無料



※駐車場はございません。公共交通機関をご利用ください。

北海道大学総合博物館



〒060-0810 札幌市北区北10条西8丁目 TEL:011-706-2658 <http://www.museum.hokudai.ac.jp/>
お問い合わせ先/北海道大学アイヌ・先住民研究センター Tel & Fax: 011-706-2859(代表)
E-Mail: ainu@let.hokudai.ac.jp URL: <http://www.cais.hokudai.ac.jp/>

